

# 「高城プライド」 ～心と形を整える～

令和3年10月8日（金） NO20 文責 木下 文秋

## 規律が守れない人への苦情

秋の地区予選大会が全日程終了しました。満足な練習ができず不安を抱えたままの大会となりましたが、どの部もよく頑張っていたと思いました。秋の大会が終わり、次は文化発表会ですが、学校全体としては体育大会、中体連と大きな目標となっていた行事が終わり、少しゆったりした空気が流れています。ところが、最近生徒の一部に対して苦情の声が聞こえています。例えば「授業中に集中の妨げとなる言動がある」「大声や奇声をあげる人がいる」「授業とは関係ない発言がある」等です。こういった苦情は直接担任の耳に入ることもあれば、家庭から匿名で管理職に電話が入り話を伺うこともあります。また、最近ではスマホの持ち込みがあり指導もしました。そして今日は、菓子の持ち込み情報も入り、アンケートをしています。残念ながら、こういう現状を保護者の皆様にもきちんとお伝えすべきだと考えています。その上で、家庭でも話題にさせていただきたく思います。前回の高城プライドで、スケッチブックに落書きがあったことを伝えました。そして、事実を受け止め反省することで前進すると書きました。規律とは「集団の秩序を維持する決まり」を意味します。そもそも学校とは「学習する場」なのに、学習する環境を乱したり、学習する権利を妨害したりする生徒がいるならば、断固とした措置をとらなければなりません。真面目に取り組んでいる生徒が損をしてはならないのです。お父さん、お母さん「あなたのクラスは怎なの？」と尋ねてみてください。1年生は入学して半年が経ち、学校にも慣れました。日頃の授業はどうでしょうか。2年生は来年の学校の顔です。地区大会での活躍の様子が目に浮かびますが、それに比例して落ち着きのある学校生活を送れていますか。3年生は卒業まであと半年。合唱にも真剣に取り組んでいますか。私は随時、全学年の授業の様子を見て回っていますが、時々廊下で立ち止まる事もあります。真面目にやろうとしている生徒の学習権を侵害する人がいれば、それは規律を守れない生徒として指導をする必要がありますし、ケースによっては保護者に事実を伝え改善をお願いすることにもなります。生徒の皆さんにも、是非学校のことを考えて欲しいと願ってやみません。学級を整えるのは先生達の仕事ですが、何より一番大きなパワーがあるのは生徒自身の自浄力です。